

ワールドカップ

W杯に初出場



静岡が生んだ大道芸人

もーりー

しずおか大道芸新聞

第10号

静岡の街でいま最も頻繁に大道芸をやっているパフォーマンス「もーりー」。今年の「大道芸W杯in静岡」にはオチ部門で初出場する。いったい、もーりーとはどんな男なのか。

■燃える男

「何か燃えるものを探していた」
もーりーは、三年前ジャグリングと出会った頃のことをそう語る。

愛知県の日本福祉大学で過ごした大学時代、普通に勉強して普通に遊ぶ普通の大学生活を送ってきたもーりーは、どこか物足りなさを感じていた。中学と高校では、陸上部の百メートルの選手として日々練習に打ち込んだ。陸上をやめてから、ずっと不完全燃焼のような感覚を抱いていた。「自分自身に挑戦するようなこと」をやりたい。大学四年のとき、友人がやっていたポール・ジャグリングを見て、くすぶっていた思いに再び火が着いた。体育会のノリで毎日三時間ほどジャグリングを練習。当然又キメキ腕があがった。大道芸デビューしたのは、ジャグリングを始めておよそ一年後のことである。

■働く男

もーりーは「サラリーマン芸人」だ。

普段は特別養護老人ホームで「生活相談員」の仕事をしている。施設内での、または外部との調整役のような仕事だという。

老人ホーム・調整役と聞くと、もーりーのパフォーマンスを見た人は、なるほどと思うのではないだろうか。その物腰の柔らかさは大道芸にしっかりと反映されており、彼を囲む観客の輪は、いつもほのぼのとした雰囲気を見せている。

しかし仕事は、ほのぼののだけでは務まらず、なかなかハードなようだ。朝七時半に出勤し、夜九時や十時に帰って来る毎日。

そんな中で、家に帰ってからパフォーマンスの練習やネタづくり。そして仕事が終わりの土曜・日曜には街に出てきて大道芸。

いつ休むの？思わず聞いてみた。もーりーの答えは、「たしかに休みはないけど・・・大道芸が、いいストレス解消になっているんです」。日頃は「調整役」

で他人の言い分を飲み込み、消化していくのが仕事。大道芸では、大きな声を出して、溜まったものを発散させているらしい。

よく見ると、ひもの先に火球のついた「ポイ」を振り回しているもーりー。

(二面に続く)

■ 変わる男

もーリーのパフォーマンスは今、変化の途中のような印象を受ける。まさに脱皮のさなかのような。これは静岡の大道芸仲間が共通して感じていることのようにだ。

当初はオーソドックスな、正統派コメディ・ジャグリングを指しているように見えたが、現在は、シニールとも言える「ひねつた」世界を作り上げようとしている。断片的に例をあげると、BGMに合わせて替え歌を歌ったり、パフォーマンスの中で怪物と闘ったり・・・。

技を見せてすごいと言われるより、「投げ銭は少ななくてもいいから、くだらないネタで笑ってもらえた方が嬉しい」

いま、大道芸に対する志向の方向転換をしているようだ。

自分の能力への挑戦として始めたジャグリング。それがいつしか人に見せることが目的になった。あるとき「お客さんが喜んでくれるのは、自分がすごいんじゃないか」とふと思った。それならば次は、ジャグリング以外の部分で評価されたい。自分への挑戦は第二ラウンドに突入した。

■ 挑む男

もーリーは今年の大道芸W杯に、オフ部門で初出場する。オフというのは、W杯の三つのカテゴリー「ワールド」「オン」「オフ」の中の言わば登竜門的存在である。

「いちど大道芸の大会に出てみたかった」という。大道芸イベントと呼ばれるものは今や全国各地で行われているが、普段別の仕事をやっているもーリーにとって、県外のイベントに参加するのは時間的にも体力的にも難しい。静岡で開催されるW杯が、参加できる唯一のチャンスなのだ。

「今までは、静岡のパフォーマーとしかコミュニケーションがなかったけど、(W杯では) 県外のパフォーマーと話をして刺激を受けたい」

もーリーは今、何かしら「刺激」を求めて触手を広げている最中のようにだ。それはきっと、次のパフォーマンスのインスピレーションを得るために。

■ 願う男

「最近、街で大道芸やる人が減ってさみしいんですよ」

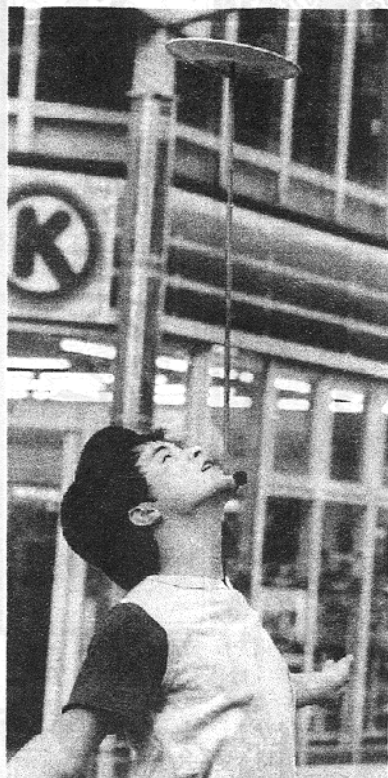
毎週のようにやっていたテルミンとNAOKIがこの夏東京に引越してしまい、静岡の街なかでの大道芸はだいぶ頻度が減った。

もーリーは、もつといろんな人に気軽に街に出て大道芸をやってほしいと言う。特に「サラリーマン芸人」がもつと出て来てほしいと願う。

「仕事をしてても大道芸は出来るんだ」ということを、彼はその身をもって示そうとしている。

もーリーのように、収入を気にせず純粋に面白いことを突き詰めていくサラリーマン芸人がたくさん出て来たとき、大道芸の世界はさらに重層的な奥深いものになっていくのだろう。

文【ひこ】
写真【ひこ・りむ】
(文中敬称略)



街を漂う物体ねにゑに関する調査報告書②

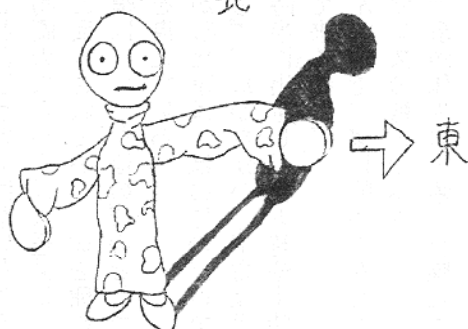
静岡市内を不気味に徘徊していたとされる謎の物体「ねにゑ」に関して、このほど当局にかなりの有力筋からとっておきの情報が寄せられた。

なんと、「ねにゑ」と思われる物体を、日本平にある静岡県舞台芸術公園内の野外劇場「有度」で目撃したという。しかも「ねにゑ」はともあろうに演劇に出演し、そのものずばり「ねにゑ」の役を演じていた、というのだ。

演劇の題は「東ねにゑ駆行」。公演プログラムによれば、この演劇を創作した静岡大道芸サークル「aps」のメンバーたち自身も、「ねにゑ」が何なのかわからないまま、ま劇を演じていたようである。というのも、プログラムの文面では観劇者に対し

「ねにゑってなに？」と、逆に問いかけているのだ。これでは話にならない。彼らは「ねにゑ」に取り付かれ、意のままに操られていたのではないだろうか。

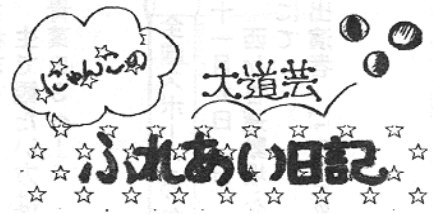
この劇の作者である余目哲氏に対し突撃取材を試みたが、はつきりとしたコメントは得られなかった。彼は「何やらぶつぶつと」「ひがし：ひがし：ゆい：ねにゑ」と独り言を繰り返していた。ひがしとは東、ゆいとは由比町のことか？ 謎は深まるばかりだが、彼が「ねにゑ」に取り付かれているのである。この独り言：いや、証言には何らかの意味があると考えるべきだ。今後、由比町で何かが起こることを想定し、当局から特派員を由比町へ送り、「ねにゑ」に対し監視する予定だ。



問い合わせは dabuiki@hotmail.com まで。

【S・A】

街を漂う物体ねにゑに関する調査報告書②



大道芸

日記

第七話

「晴れ」

お日様と青空の下で大道芸するのとはとっても気持ちがいいです。

雨が降ってしまおうと、もちろん大道芸は出来ません。芸人をへこませるには、雨が三日も降れば十分です。(笑)

一度だけ夏の雨の中で大道芸をしたことがあります。それはそれで、気持ち良かったし、いい思い出になりましたが、雨の中で大道芸をするなんてありえない事ですよ。

ところで私は、大道芸人になつてから、どうやら「晴れ女」になったようです。

昨年のゴールデンウィークに、一日三回の大道芸をする事になっていたイベントの時の事です。二回目の予定時間前に、雨

が降り出してしまいました。軒下で「風船配りだけやりましょうか」と先方と打ち合わせをしていたら、パツと雨が止んでしまったのです。「今のうちにやります！」急いで準備して、三十分間大道芸をやり遂げる事が出来ました。そしてまた、終わると同時に雨が降り出したんです。そんな事が何度か続き、自分

分はもしかして「晴れ女」になったのではないかと思いはじめました。見えない力に背中を押されてるような、空にも応援してもらってるような、不思議な思いです。

「晴れ」には単に天気が良いという意味だけではなく、「表向きの場であること」と「表向きの場であること」という意味もあります。その両方の意味が、私にはとても良く働いている気がします。

大道芸人である限り、いつまでも「晴れ女」でありたいと願います。

【にゃんこ】

http://www.geocities.co.jp/Bookend-
Hemingway/1105/

卵が大道芸サークルに入つて約5ヶ月。

早いなり。まだ何にも出来るようになってないのに...

卵の歩みはホントに遅い。そもそも最初から時間がかかってた。

卵が大道芸サークルに入つたのは6月始め。でも入ろうと思つたのはもっと前。実はサークル入るのに数ヶ月間悩んでた。

悩んだ理由は3つ。

1つ目は年齢。

卵は学生ではない。社会に出て立派に働いているお年頃。今から始めても... という気持ち

それが若い人達の中に入るのは、結構なパワーが必要。入つてからもやっていけるのか?とも思つた。



2つ目は前にも書いてあるが、卵には

仕事がある。だからどこまで両立出来るのかがわからない。

それに卵は自分の仕事にプライドを持っていて。どちらかを選べと言われた時、多分どうしていいかわからなくなる。大道芸はやりたい、でも仕事も辞められない。どちらかを選ぶ事なんて出来ないから。

3つ目は自分の性格。

卵は態度はデカいが気は小さ

い。小心者なので、人前に出るのが苦手。人前に立つと、必要以上に緊張して何も出来なくなってしまう。なるべくなら、目立たずに生きていきたい人。

そんな人間が大道芸をやりた

いなんて...おかしい。どう考えても矛盾している。っていうか無理だろ。

そんな理由で数ヶ月間を悩んで過した。

それから気持ちに変化があつたわけでは

ない。何かキッカケがあつたわけでもない。それなのにサークルに入つたのは、やっぱり大道芸をやってみたかったから。

あの悩んでいた数ヶ月間に比べたら、今はゆっくりでも確実に前に進んでいる。だから急ぐ事はない。自分のペースでやっていこう。

のんびりと前に進む卵には、今も悩みはもちろんある。

立派な大道芸人になる為に卵は悩み続けている。

(りむ)



卵 日記 その2

大道芸

いんぷお

大道芸を観られるチャンスが減ってしまふ冬が近づいてきています。観られるうちにいっぱい観て笑って興奮しておきましょう！

浜名湖・パールパル

十一月三日(祝)

アクセス方法

浜松駅北口バスターミナル一番のりばより「館山寺温泉」行きバスで「浜名湖・パールパル」まで約四十五分。

出演者 かずや

十一時〜、十三時〜、十五時〜

朝日テレビ【とびつきり静岡】

十月三十一(金)

Trickmaster TAKASHIさんが出演されます。

生で観たい方は、4時50分・青葉B3へ！

全国スポーツわかふじ国体

十一月九日(日)

西ヶ谷運動場ふれあいステージにて

出演者 Trickmaster TAKASHI

大道芸ワールドカップ in 静岡

十月三十一日(金)

十一月三日(祝)

静岡市街地、駿府公園、浅間通りで行われます。

毎年恒例(今年で十二回目)

の日本で一番大きな大道芸のお祭りです。

世界各国から集まったパフォーマーが朝から晩まで目の前で真剣に楽しませてくれる、

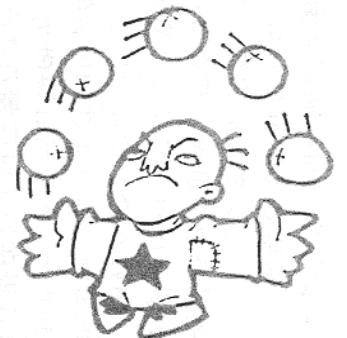
しかも、そんな世界一流のパフォーマンズにいくら払うか決めるのは自分・・大道芸ならではの楽しみですね。

公式ガイドブックにとらめっこして、めいっぱい楽しませよう！

ワールドカップ部門、オン部門、オフ部門、それとスペシャル、スペクタクルと別れていて、なんと静岡を中心に活躍しているパフォーマーの中から四人がオフ部門に！

かずや、コメディパフォーマーTOMI、大道芸人モーリー、TACKYです。ぜひぜひ応援してください。

でもオフ部門の彼らのスケジュールは当日までのお楽しみ会場で配られるデイリーニュースペーパーを「ご覧くださいね。」



特別ミニコーナー

3つの知恵

【まずはデイリー

ニュースペーパー】

デイリーニュースペーパーは、当日(毎日)会場で配られている新聞で、ワールドカップに関する新着情報が載っています。

これにはオフ部門とナイトパフォーマンスのスケジュール、それに当日のスケジュール変更も載っているのです。要チェックです。

【急がば回れ】

大会前に静岡の街並みを再確認しておくことと当日移動しやすいものです。

混んで進めない道も、一本横の道を選ぶだけでスイスイ進めたりします。

つまりは「裏道」です。

【みんなで楽しむのが大道芸】

「」で取り上げられたり、大道芸ブームなのも加わり、毎年お客さんの数は右肩上がりです。やっぱり誰もが楽しみたいくっで集まってくるわけですが、混んでいてイライラしがち・・でも、それじゃ自分だって楽しめなくなっても、もったいないですよ。

だから、ゆずりあいとちよつとした気配りをお願いします。

お子さんや背の低いかたを前にしてあげたり、前のほうになつたらできるだけ座るようにするとか、座り続けるのがツラくなつたら後ろのかたに交代してもらえるか聞いてみるとか・・

まあ、ちよつとココロにゆとりを、ということでしょうか。

「どうぞ」と「ありがとう」が行き交つたらますますステキな一日になること請け合いです。

笑顔は広がります・・・発信源になりますよう！ ではでは、Have a good day!

【かみみ】

http://members.at.infoseek.co.jp/HitomiPage/

パフォーマー募集!

当会では、青葉通りでパフォーマンスを披露してくれるパフォーマーを随時募集しています。

プロ・アマ、ジャンルは問いません。お問い合わせ等、お気軽にどうぞ！(下段最左部の連絡先まで)

当会は、静岡の街なかで日常的に大道芸を楽しむまちづくりを目指しています。

サポーター(会員)募集!!

会の活動を応援してくれるサポーターを大募集中です! サポーターのみなさんには「しずおか大道芸新聞」をお届けします。

年会費は、一口五百円(年度単位)で、お一人様何口でも!

新聞スタッフ募集!!!

しずおか大道芸新聞の編集スタッフを随時募集しています。単発の投稿や連載企画、イラスト等も大歓迎! 興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

新聞へのご意見やご感想もお待ちしております。

しずおか大道芸新聞 第十号

二〇〇三年十月二十四日発行

編集・発行 発行部数三〇〇部

しずおか大道芸のまちをつくる会 http://simarukai.kt.fc2.com (代表) かみみ

F-422-8041

静岡市 中田4-5-28-201

電話・070-5647-4024

hikoz@tokai.or.jp